

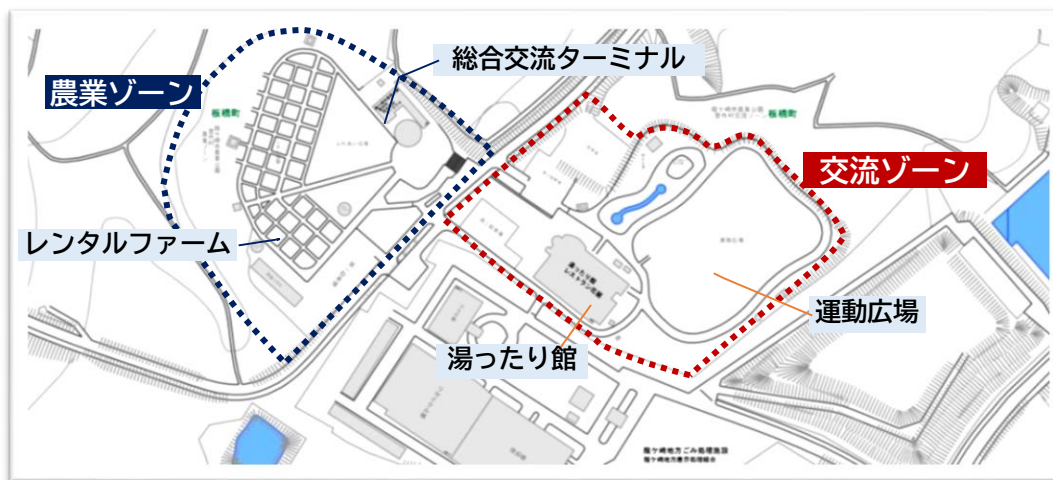
龍ヶ崎市農業公園豊作村（湯ったり館）の管理運営について

• 施設の概要

■平成11年度 農業ゾーン（レンタルファーム・総合交流ターミナル）開設

■平成12年度 交流ゾーン（湯ったり館・運動広場）開設

開設から23年が経過
施設の老朽化が顕著



• 湯ったり館の運営状況（1）

■入館者数

入館者数最多（平成15年度）

253,237人

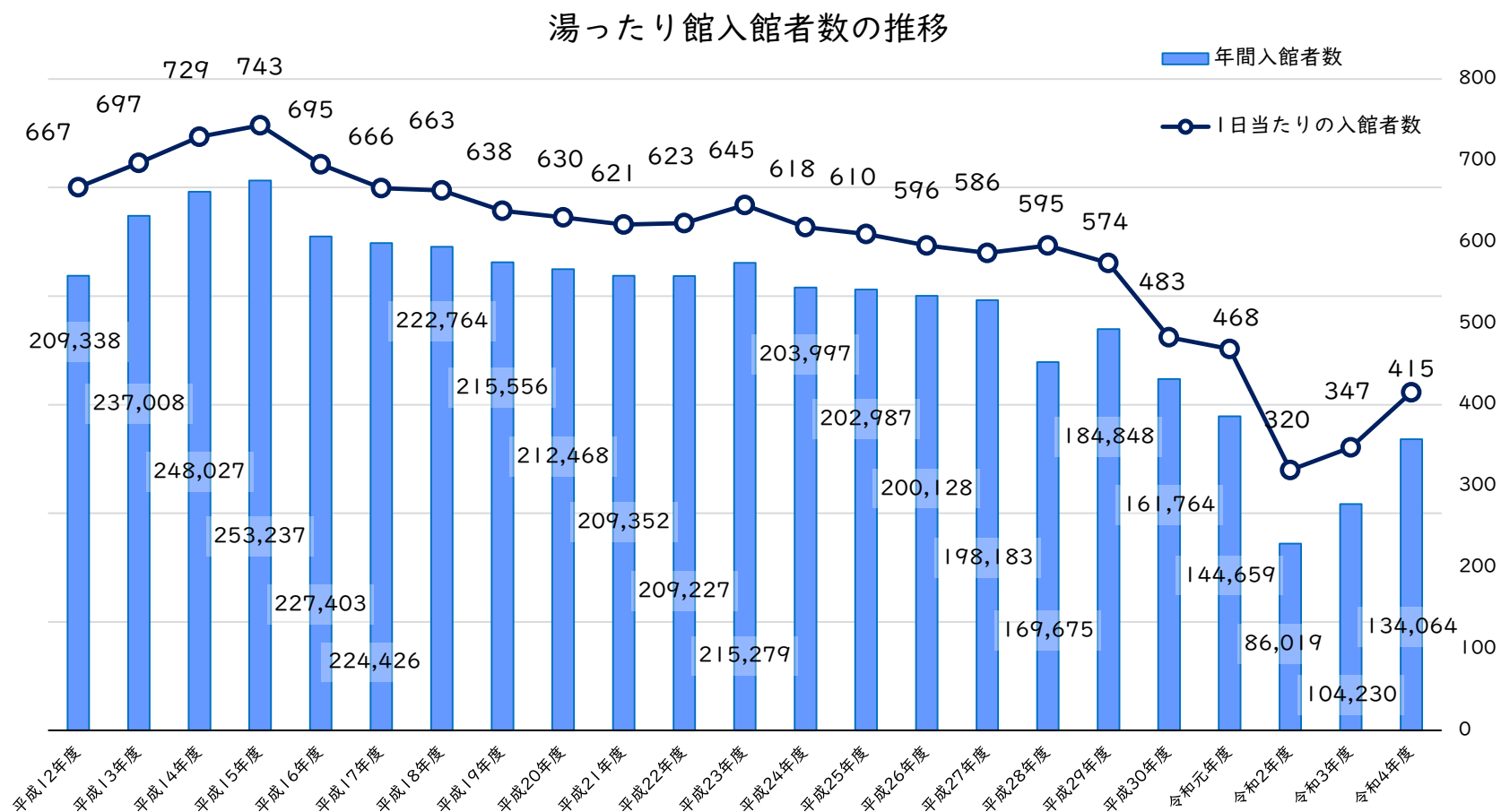
ピーク時の
47%減

令和4年度

134,064人

< 近年の状況 > ※H28・R2・R3は長期臨時休館の期間あり。

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
入館者数合計 (人)	169,675	184,848	161,764	144,659	86,019	104,230	134,064



・湯ったり館の運営状況（２）

事業費決算の状況

■使用料収入

使用料収入最高（平成14年度）

132,257,650円

■事業費歳出

直近平常時平均（H28～R1年度）

約 131,649,000円

※新型コロナウイルスの影響以前の直近年度にて算出。

収入は
入館者数に連動して
ピーク時の

47%減

61,997千円減



令和４年度

70,260,382円

支出は
直近平常時から

38,151千円増



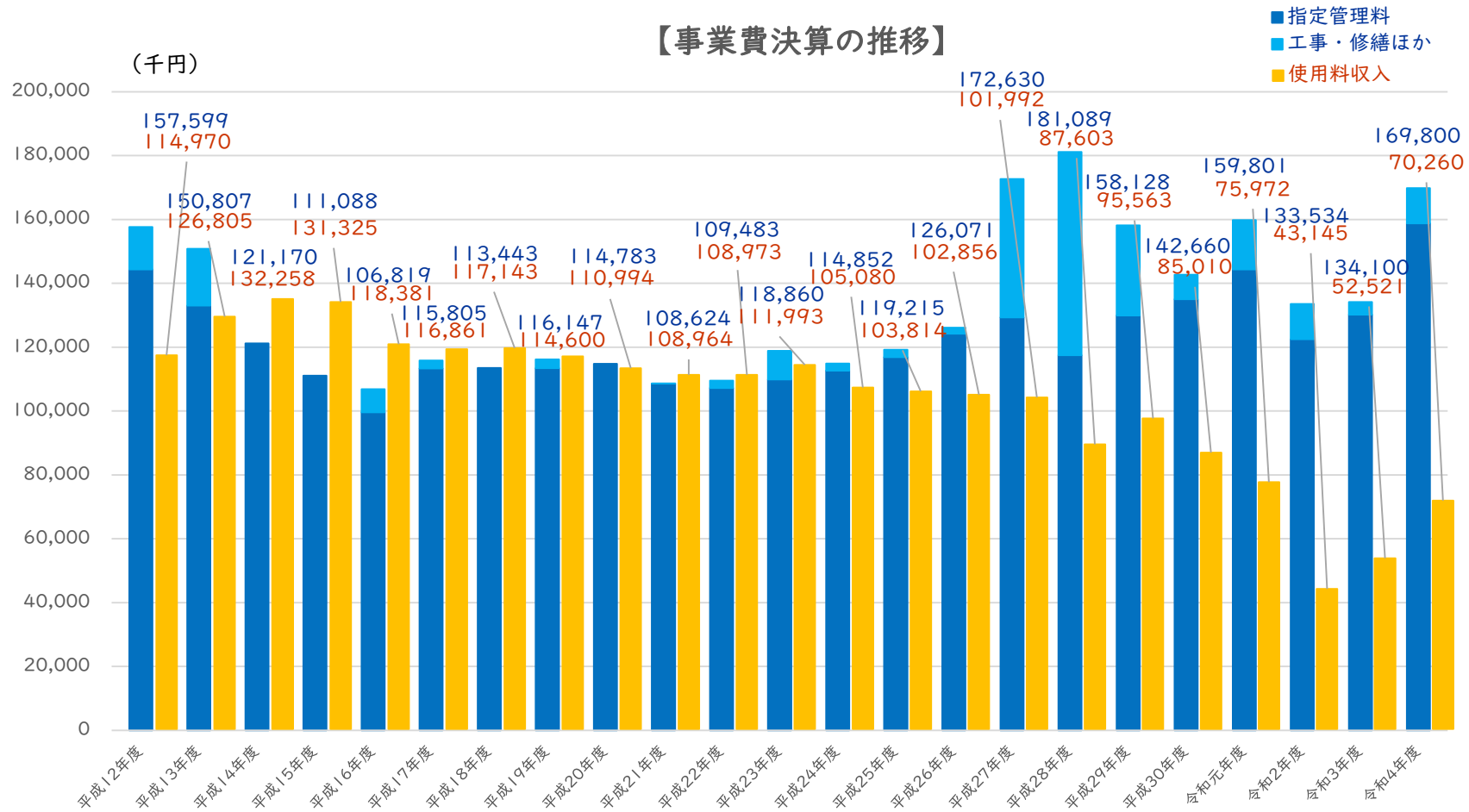
令和４年度

169,800,000円

< 近年の状況 > ※H28・R2・R3は長期臨時休館の期間あり。

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
使用料収入	87,603,420	95,563,380	85,009,850	75,971,710	43,144,770	52,521,030	70,260,382
事業費歳出	181,088,871	158,127,868	142,659,864	159,801,450	133,534,220	134,100,000	169,800,000

【事業費決算の推移】



開設から令和4年度までの累積収支差額

▲719,425,602 円

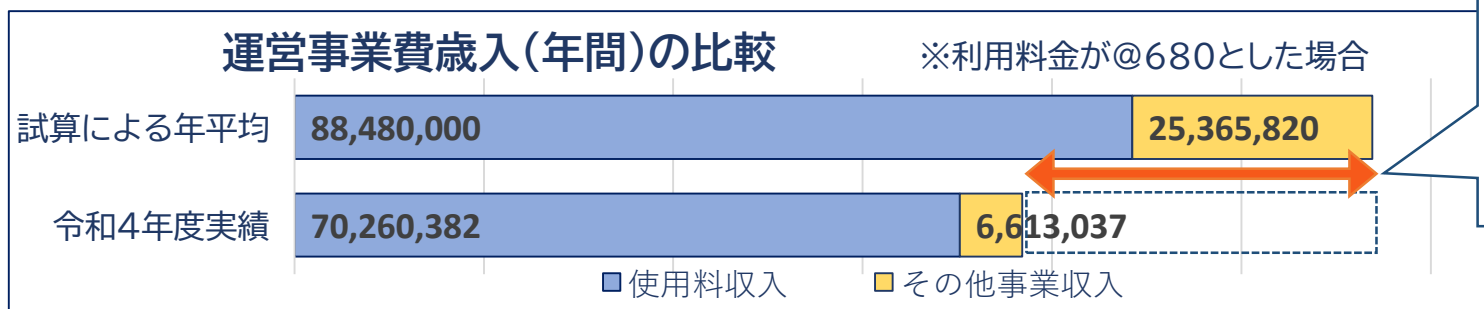
● 事業経費試算（R6-10年度試算による年平均）

以下の積算要件を適用して積算しています。

- 一部利用料金制導入 ○ 一般公募による指定管理者選定 ○ 指定管理期間：5カ年度
- 宿泊事業の廃止 ○ 温浴施設事業を主とした運営 ○ 営業時間（全日午前10時～午後9時）
- 指定管理者直営による飲食提供 ○ 利用料金は、現行額520円及び680円

■入館者数見込 135,000人（R6見込）～ 145,000人（R10見込）※毎年2,500人増加

■運営事業費【歳入額】 113,845,820円（R6-10の年平均）



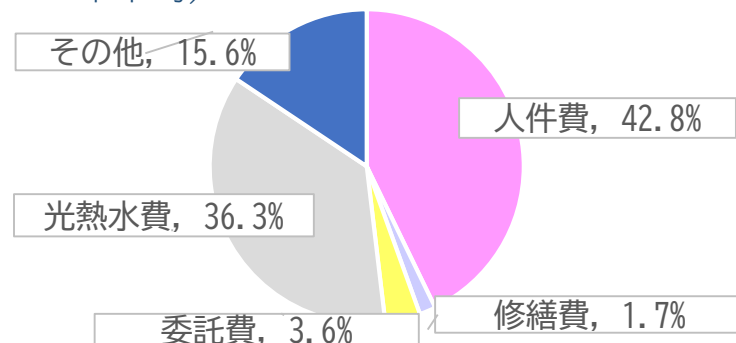
歳入増加見込み

- ・ 入館者数増
- ・ 利用料金改定
- ・ 企業努力による事業収入増

■運営事業費【歳出額】 207,885,020円（R6-10の年平均）

< 内訳 >

人件費	89,006,500円
修繕費	3,500,000円
委託費	7,516,300円
光熱水費	75,392,000円
その他	30,324,500円

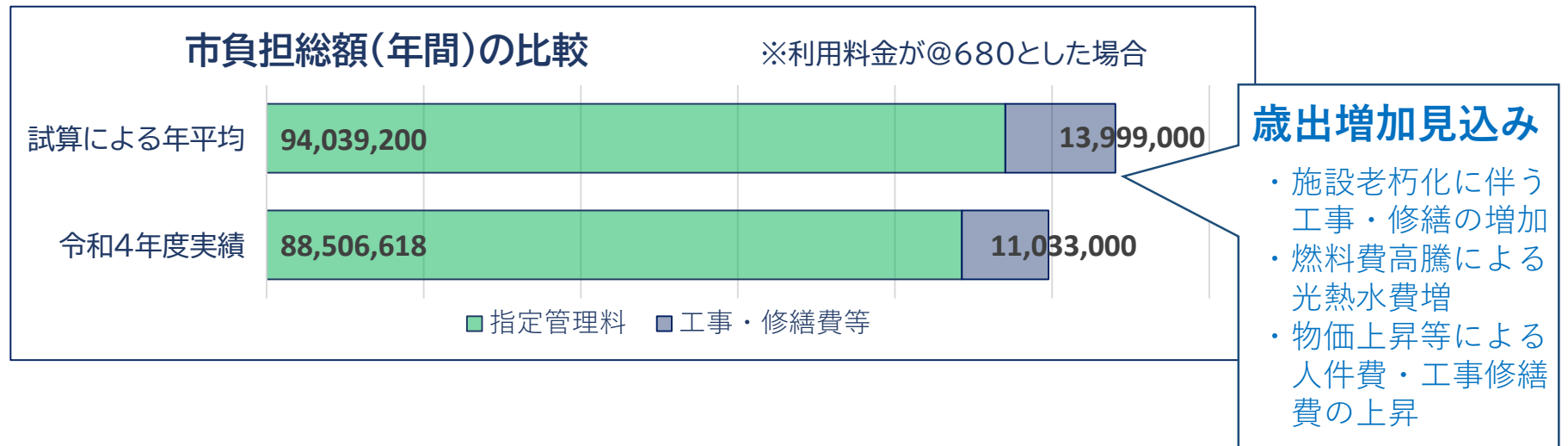


運営事業費は
年間約2億円超

■市負担総額 108,038,200円 (R6-10の年平均)

利用料金 680 円に改定した場合でも 年平均 約 1 億円超の市負担額

5 年間では、約 5 億 4 千万円以上



• 試算結果（要旨）

- 利用料金制導入によるインセンティブ付与、一般公募による指定管理者選定、利用料金の改定などの改善策を施し、民間事業者による運営を想定した試算においても、**事業経費は年間約2億円**とあまりに過大。
- 事業経費から使用料収入を差し引いた実質的な**市負担額は年間約1億円超**。
- 事業経費の大幅削減が難しい主な要因は次のとおり。
 - ・ 燃料高騰・物価上昇による光熱水費の急増。
 - ・ 事業経費の内訳として、固定経費が高い割合を占める。
 - ・ 機器更新等により高額となっている市負担の工事・修繕費だが、今後の事業継続のために必要不可欠なもの。

以上のことから

- ・ 今後の施設のあり方と事業運営について見直しを図ること
- ・ 現在の指定管理期間満了日（令和6年3月31日）をもって、湯ったり館を休館
を決定しました。

